

太田市周辺の外来種ヌマガエルの分布

山崎陽平（日本蛇族学術研究所）

はじめに

もともと、ヌマガエルの国内分布は、本州中部以西・四国・九州・南西諸島であった。しかし、近年は本来分布しないはずである北関東周辺でも発見されるようになり、分布が広がっていることが知られている。これによる在来カエル類への影響や餌生物の減少などが懸念される。太田市周辺のヌマガエルの記録は、森口ら（2004）によって太田市新田・伊勢崎市境での報告があり10年以上前から生息が確認されている。本調査では、ヌマガエルと在来カエル類の生息の有無を確認するため、主に水田を対象とした調査をおこなった。



対象種・調査方法

調査対象種は、ヌマガエルと、同所的に生息している可能性が高いトウキョウダルマガエル・ニホンアマガエルとした。調査地は主に水田とし、池や用水路などの水場が近くにある場合は周辺環境も対象とした（全9地域）。調査期間は2015年6月20日～10月31日。対象とした水場の周辺を踏査し、カエル類の分布の有無を記録した。



ヌマガエル



トウキョウダルマガエル



ニホンアマガエル

結果

ヌマガエルは、4地域（県内3地域）で発見された(表1)。太田市では新田中江田・上江田地域での生息が確認された。新田地域から北東に約7kmの西長岡地域・約8kmの藪塚地域・約8.5kmの丸山地域でのヌマガエルの生息は確認されなかった。また、館林市・埼玉県深谷市での生息を確認した。ヌマガエルの発見場所は、水田・用水路・林床であった。わずかに湿気が残っている環境であれば水田や用水路などに水が入っていない場所でも多くの個体が発見された。トウキョウダルマガエルは4地域で発見されたが、ヌマガエル

と共に発見された地域は、埼玉県深谷市のみであった。ニホンアマガエルは6地域で確認され、3種の中では最も多くの地域で発見された。また、館林市西高根・埼玉県深谷市ではヌマガエルと共に分布が確認された。

表1. 調査地で確認されたカエル類

地域	日	環境	種		
			ヌマガエル	トウキョウダルマガエル	ニホンアマガエル
群馬県太田市藪塚	10月13日	水田	-	-	○
群馬県太田市丸山	10月13日	水田・池・用水路	-	○	○
群馬県太田市西長岡	7月19日	水田・用水路・河川	-	○	○
群馬県太田市新田上江田	10月16日	水田・用水路	○	-	-
群馬県太田市新田中江田	10月16日	水田・用水路	○	-	-
群馬県伊勢崎市豊城	8月28日	水田・畑	-	-	○
群馬県館林市西高根	10月31日	水田・用水路・林床	○	-	○
群馬県桐生市川内	6月20日	路上・池	-	○	-
埼玉県深谷市堀米	10月31日	水田・用水路	○	○	○

※表中の○は確認種を示す

まとめ・展望

本調査における太田市でのヌマガエルの確認地域は、南西部のみであった。そのため、太田市北部には、まだ分布していないものと考えられる。今後、新田地域よりどの程度北に分布しているのか、より一層の調査が必要となる。ヌマガエルと在来カエル類が同所的に確認された地域があった。在来カエル類への影響があるのかどうか、カエル類の密度や餌生物の増減などを調べることで明らかにすることができると考えられる。隣県と比較すると群馬県でのヌマガエルの情報は少なく、不足している。群馬県全域でのヌマガエル分布調査を行う必要があるだろう。

キーワード

ヌマガエル トウキョウダルマガエル ニホンアマガエル 外来種

引用文献

森口一, 林光武, 木村有紀, 富岡克寛, 小林敏男 (2004). 群馬県境町と新田町におけるヌマガエルの分布確認. 爬虫両棲類学会報, 2004(2), 119-120.